



改築シター

西が丘小学校

★第2号★平成30年10月
北区教育委員会事務局
教育振興部学校改築施設管理課

北区では、平成34年9月開設に向けて西が丘小学校の新校舎を建設する計画を進めています。改築シター第2号では、基本設計検討会の検討状況をご紹介します。

第2回西が丘小学校基本設計検討会（9月18日）の概要

『検討事項1 教室配置・屋外環境』

前回のワークで頂いた意見を基に、校舎を北側に配置した案（A案）での検討を進め、正門を東側とした『A-1案』と正門を北側とした『A-2案』を示し、教室配置と屋外環境等について話し合いました。主な意見を紹介します。

★検討の着眼点★

- ①動線計画②教室配置③機能性・施設管理④アプローチ⑤屋外環境



模型を使いながら意見を出し合いました

【総合的な意見】

校舎内の動線：特別支援教室や日本語学級への動線は他の児童と交差しないよう配慮したい
教室配置：学童・放課後広場ブロックは校庭側に設けたい／日本語学級は2階でもよい
アプローチ：緊急車両動線を東西に確保したい／東側から通ってくる児童が多い
デザイン：門にこだわりたい／学校活動が地域から見えるとよい／特徴的な校舎がよい
屋外環境：正門の位置は地域の歴史や北側道路が主要道路であることを考慮すべき

等

【各案への意見】



1階平面イメージ



3階平面イメージ



2階平面イメージ

●A-1案：正門＝東側

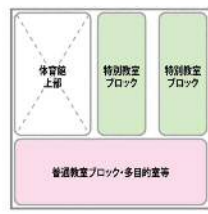
- ・校庭と校舎の間に門があると管理しやすく、使いやすい
- ・登下校の門が1つのため、管理しやすい
- ・校舎が一体的に使えるため移動しやすい
- ・交通量の少ない東側が登下校動線になっているため安全
- ・登下校動線と車両動線が分離できてよい
- ・東側歩道が広くとれそうなので、登下校時に十分なスペースが確保できて安全



1階平面イメージ



3階平面イメージ



2階平面イメージ

●A-2案：正門＝北側

- ・正門が北側の主要道路側にあるとわかりやすい
- ・登下校用の門を1つにすれば管理しやすい
- ・ピロティは屋外活動には使いやすい一方、動線が分断される点が気になる
- ・バックヤードが広すぎることや2つに分かれていると使いづらい
- ・東側歩道がA-1より狭くなってしまう
- ・学童等の部屋がグラウンドに面して使いやすい

⇒教室配置・屋外環境の方針について

正門を北側に設けた上で、動線計画や学童クラブ・放課後子どもプラン室の配置等、検討委員の皆様から頂いたご意見を参考に検討を進め、次回の検討会にてより詳細な平面計画案をお示しする予定です。

また、今回は平面計画案に加えて校舎の外観イメージについても話し合っていたく予定です。

『検討事項2 整備コンセプトのキーワード探し』

学校づくりの骨格となる整備コンセプトを決めるため、地域・学校の特徴や新しい学校で大事にしたいことを踏まえて、「西が丘らしい学校とは」という観点から、キーワード探しを行いました。ワークを通じて出てきたキーワードの一例をご紹介します。

【西が丘のイメージ】

◆地域の特徴

桜／見晴らしがよい／良好な住宅街・景観／スポーツ施設の集積地／人々が優しい

◆西が丘小学校の特徴

地域とのつながりが強い／地域の中心となる学校／子どもたちの仲がよい

⇒特に大事にしたいこと

良好な住宅街に調和したデザイン／優しさを感じる校舎と空間

／子どもが子どもらしくいられる空間／地域と子どもたちの距離が近い学校

【新しい学校で大事にしたいこと】

子どもたちの居場所／地域も利用しやすい施設／防災・防犯／省エネ・自然／歴史や伝統を活かすデザイン／思い出に残る学校／ユニバーサルデザイン

⇒特に大事にしたいこと

子どもたちの居場所を大切にした学習空間／学校と地域が共有できるスペース

【西が丘らしい学校とは・・・】

キーワードから短いフレーズについても考えていただきました。この一部をご紹介します。

- ・子どもの居場所を大切にした学校
 - ・四季にあふれた学校
 - ・敷地にフィットするコンパクトな校舎
 - ・スポーツ施設等、アスリートのまちであることを活かした学校
- 等

⇒検討委員の皆様から頂いたキーワードやフレーズを参考に、整備コンセプト案を作成し、次回の検討会で整備コンセプトをまとめていきます。



キーワードを考えていただきました



まとめた意見を班ごとに発表しました

先進事例の視察（8月23日） 品川区立小山小学校

検討の参考とするため、敷地条件が似ている品川区立小山小学校の視察を行い、「新校舎に活かしたいところ」について意見をいただきました。

◆各教室について



<オープンスペース>

※右側が普通教室、左側が多目的スペース

普通教室の前にオープンスペースがあるため、明るく開放感があってよいという意見が出た一方、教室を広くして収納・掲示面を充実させたい等の意見がありました。

また、普通教室近くに多目的スペースがあると様々な活動に使えるという意見がありました。

その他にも、家庭科室とランチルームが隣接していると、一体的に利用できてよい等の意見がありました。



<体育館>

◆デザインについて

内装に木材がふんだんに使われていて温もりある空間がよいという意見がありました。

また、外観については、地域に調和したデザインにしてほしい、また、子どもたちを迎え入れる温かいデザインとしてほしい等の意見がありました。

第3回西が丘小学校基本設計検討会のご案内

傍聴を希望される方は、当日、直接会場までお越しください。

- 1 日時 平成30年10月16日(火) 午後6時30分から2時間程度
- 2 場所 西が丘小学校 1階家庭科室
- 3 傍聴 受付は、午後6時15分から開始いたします。

※会場の都合上、希望者多数の場合は、入場を制限させていただく場合がございます。



過去の検討会資料等については、以下の北区ホームページでも紹介しています。

●北区ホームページ「西が丘小学校の改築」

ホーム > 子育て・教育 > 小・中学校 > 学校の改築・改修

> 学校の改築 > 西が丘小学校の改築 > 西が丘小学校基本設計検討会

【問い合わせ先】 北区教育委員会事務局 教育振興部学校改築施設管理課
電話 3908-9277